

11月22日

東京の都心で石綿

発ガン物質 大気から微量検出

発ガン物質のひびいてきた。たもの。約九月にわたって検出した。検出時間約六十時間。その結果、千五百個中十二個のアスベスト繊維を検出した。

アスベストは発ガン物質のひびいてきたものである。世界的に関心が強くなり、英国では三年前に同国産業衛生協会許容委員会アスベスト小委員、産業

環境における許容濃度を「18中の繊維数、掛ける労働年を百以下とする」と定めた。この規定によると、労働年間二十五年の労働者は18中四個以下ならば、許容範囲に達しないのである。

これは、恒常的にアスベストを吸い込む職業現場での単位一般の大気中については、いまの

発ガン物質のひびいてきた。たもの。約九月にわたって検出した。検出時間約六十時間。その結果、千五百個中十二個のアスベスト繊維を検出した。

アスベストは発ガン物質のひびいてきたものである。世界的に関心が強くなり、英国では三年前に同国産業衛生協会許容委員会アスベスト小委員、産業

環境における許容濃度を「18中の繊維数、掛ける労働年を百以下とする」と定めた。この規定によると、労働年間二十五年の労働者は18中四個以下ならば、許容範囲に達しないのである。

これは、恒常的にアスベストを吸い込む職業現場での単位一般の大気中については、いまの

発ガン物質のひびいてきた。たもの。約九月にわたって検出した。検出時間約六十時間。その結果、千五百個中十二個のアスベスト繊維を検出した。

アスベストは発ガン物質のひびいてきたものである。世界的に関心が強くなり、英国では三年前に同国産業衛生協会許容委員会アスベスト小委員、産業

環境における許容濃度を「18中の繊維数、掛ける労働年を百以下とする」と定めた。この規定によると、労働年間二十五年の労働者は18中四個以下ならば、許容範囲に達しないのである。

これは、恒常的にアスベストを吸い込む職業現場での単位一般の大気中については、いまの

都市の大気中アスベストが、市民の健康に悪影響を及ぼす理由として、市民の車のブレーキ・ライニングにアスベストを使用していること、古いビルやアパートのシングル・ボードなどの新建材にアスベストが使用されていること、などが考えられるところ。アスベスト利用履歴が今後、一般広範囲になると推定されるため、これを無批判に使用することは、市民の健康に悪影響を及ぼす可能性がある。

山口県の三ツノメカニクスが取りかかっている今日、東京と三ツノメカニクスは、アスベストを吸い込む危険な場所であると警告した。そこで、三ツノメカニクスの人たちが不必要な危険を避けるために、三ツノメカニクスを避けたのは、幸いである。地域的な危険は、